



国指定名勝 三溪園
記者発表資料

令和 2 月 10 月 1 日
公益財団法人 三溪園保勝会
事業課長 吉川利一
横浜市中区本牧三之谷 58-1
TEL045-621-0634・5
<https://www.sankeien.or.jp>

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者会 各位

重要文化財の美と技を、特別に間近で

—企画展「臨春閣-建築の美と保存の技-」開催

10/15 (木) ~12/20 (日)

臨春閣内を彩る装飾の数々を、三溪記念館で特別に公開。ふだん間近で見る事の
かなわない欄間や板額などが工事で取り外された今だからこそそのスペシャルな企画展
です！

三溪園を創設した原三溪は、当時、豊臣秀吉が建てた聚楽第の遺構とされていた臨春閣を「桃山御殿」と呼び、秀吉ゆかりの美術工芸品で室内を装飾して日々の生活を楽しみました。実際にここでは、長男・善一郎の婚礼や三溪自身の葬儀が行われ、園内にある建物の中でも特別であったことがわかります。

この臨春閣では現在、約 30 年ぶりとなる屋根葺替工事を中心とした保存修理工事を行っています。

また、今回の工事では併せて耐震補強も行っており、これに伴い、屋内の欄間やそれに附属する色紙などを取外し、状況の芳しくない一部は修理を行いました。特に、壁に埋め込まれていた「板絵十二支図額」は類例がなく貴重な作品で、詳細な調査が行われました。本展ではこれらの美術工芸品の数々を、臨春閣内に戻す前に三溪記念館で特別に公開します。このほか、30 年前に高度な技術を要するコロタイプ印刷をもって複製に置き換えられた障壁画も、今回初めて原本と並べて展示します。

文化財建造物を守り伝える保存修理の技術もまた、この度の工事では不可欠な要素です。本展では、修理工事の過程とともに、それらの技術も作品や資料を通してご覧いただけます。



◀現在工事中の
重要文化財臨春閣（玄関棟）



展示作品（一例）▲►
(上) 彩色復元図作成中の「板絵十二
支図額」(丑)
(右) 第一屋瀧湘の間・花鳥の間との境
にある欄間彫刻（波）





国指定名勝 三溪園 記者発表資料

■開催日時 2020年10月15日（木）～12月20日（日）
9:00～17:00（入園は16:30まで）

■料金 無料（入園料のみで観覧できます）

■主 催 三溪園（公益財団法人三溪園保勝会）

■後 援 横浜市、横浜市教育委員会

■協 力 株式会社児島工務店、株式会社小西美術工藝社、栄建具工芸、
中商株式会社、公益財団法人文化財建造物保存技術協会、
株式会社便利堂

■協 賛 本牧まちづくり会議

■主な展示作品

16件

彫刻欄間（波、菊、桐）

浪華十詠和歌色紙

板絵十二支図額

伝狩野永徳筆「芦雁図」およびコロタイプ複製

花鳥人物彫屏

黒漆螺鈿樓閣人物図屏（地袋戸）

春日出新田建築図 ほか

■図録「臨春閣—建築の美と保存の技—」（販売価格未定）

■三溪園の施設案内

《所在地》三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《交通アクセス》

- JR根岸線根岸駅から市営バスで10分、「本牧」バス停下車、徒歩10分
- 横浜駅東口から市営バスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- 横浜駅東口から「ぶらり三溪園BUS」で35分、「三溪園」下車、すぐ（土・休日のみ運行）
- 桜木町駅から市営バスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- みなとみらい線元町中華街駅4番出口から市営バス（「山下町・タワー入口」）で15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分

お問い合わせ：

三溪園 事業課 岩本、北泉、原
横浜市中区本牧三之谷 58-1
TEL045-621-0634 / FAX045-621-6343
<https://www.sankeien.or.jp>